

| 1 事業名称 | 2 業績目標 | 3 事業実績及び予算額 | 4 評価 | 5 事業実施担当課 | | | | |
|---|--|--|---------|--------------|---------|-----------|---|----------|
| <p>具体的施策 33 男性の家庭生活や地域活動への参画促進</p> | | | | | | | | |
| <p>男女の自立や男女共同参画を促進するための講座等</p> <p>☆アミカス講座</p> | | <p>(具体的施策 30再掲)</p> <p>○男性向けセミナー 男性と若年層を対象とした多様なテーマの講座及び父と子を対象とした料理教室等を実施。</p> <p>◆パパと子どものクッキング 全2回(全2回) 講師:横尾妙子(管理栄養士) 参加者数:延べ48人【男:34人,女14人】 〈延べ50人【男:35人,女15人】〉</p> <p>◆男性カレッジ 全4回(全4回) 講師:天野周一(全国亭主関白協会会長)ほか 参加者数:延べ247人〈延べ81人〉</p> | A | 市) 事業推進課 | | | | |
| <p>ソーシャルビジネス(SB)振興事業</p> | | <p>○啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SBフォーラム 参加1,162名<116名> ・SB入門セミナー 受講者164名<153名> <p>○支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SB起業セミナー 受講者21名<21名> ・SB相談窓口利用件数65回<56回> ・現在のSB事業者数 125事業者<126事業者> <p>予 算 額</p> <table border="1" data-bbox="592 846 1174 909"> <thead> <tr> <th>25年度予算額</th> <th>24年度予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5,033千円</td> <td><6,438千円></td> </tr> </tbody> </table> | 25年度予算額 | 24年度予算額 | 5,033千円 | <6,438千円> | A | 経) 就労支援課 |
| 25年度予算額 | 24年度予算額 | | | | | | | |
| 5,033千円 | <6,438千円> | | | | | | | |
| <p>市民や企業と共働した子育て支援</p> | <p>平成26年度末までに、賛同企業・団体数を1500にする。</p> | <p>(具体的施策 28再掲)</p> <p>子どもの健やかな成長を考える“きっかけ”となるよう、企業・団体に対して、“「い〜な」ふくおか・子ども週間♡”賛同を呼びかけた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年3月末現在賛同数 928企業・団体〈平成25年3月末賛同数 900企業・団体〉 ・働く人の認知度を向上するため、週間に合わせ、市営地下鉄駅構内で通勤時間帯に放送 ・“「い〜な」ふくおか・子ども週間”ホームページに賛同企業・団体名及び取り組みを掲載するとともに、呼びかけ強化 ・月間(8~10月)を設定し、市役所全庁に呼びかけ ・ノー残業デーの実施 ・子ども参観日の実施(8月2日) ・経済誌掲載 | B | こ) 総務企画課 | | | | |
| <p>活力あるまちづくり支援事業</p> | <p>各校区の自治協議会において、男女共同参画を推進する活動が実施されるよう支援する。</p> | <p>(具体的施策 9再掲)</p> <p>活力あるまちづくり支援事業補助金の交付を通じて自治協議会が行う男女共同参画の推進に関する取り組みを支援した。</p> <p>補助金交付団体数 148団体(148団体) (うち147団体については自治協議会へ交付、残り1団体については自治協議会未設立のため各種団体へ交付)</p> | A | 市) コミュニティ推進課 | | | | |
| <p>公民館における男女共同参画学習講座のうち主に男性を対象とするもの</p> | <p>公民館主催事業(男女共同参画学習講座のうち主に男性を対象とするもの)実施館数の増加 18館</p> | <p>(具体的施策 32再掲)</p> <p>公民館主催事業のうち男女共同参画学習講座を重点事業として実施。そのうち主に男性を対象としたもの。</p> <p>公民館数 11館〈12館〉 回数 30回〈42回〉 参加人数 663人〈831人〉</p> | C | 市) 公民館調整課 | | | | |

| 1 事業名 | 2 業績目標 | 3 事業実績及び予算額 | 4 評価 | 5 事業実施担当課 |
|-------------------|---|--|------|-----------|
| 東区男女共同参画連絡協議会活動支援 | 男女共同参画の視点を持った地域リーダーの育成。 | (具体的施策 5再掲) ①総会・定例会・専門部会の開催(委員:27人) 総会1回・定例会12回・専門部会(随時) ②東区のとどい(講演会等)の開催 参加者:310人(24年度:240人) 講演:「自分を育てる時間の使い方」 講師:村上 祥子 氏(料理研究家) ③男女共同参画社会づくり講座 参加者:370人(24年度:379人) テーマ「超高齢社会の絆を考える」 (3回シリーズ 共催:東市民センター) ④地域リーダー育成研修会 共催:東区 参加者:77名(24年度:65人) 「男女共同参画ってなあに」(講義) 講師:アマカス副館長 安部 修 氏 ⑤日本女性会議2013あなん(4名参加)(24年度:4人) ⑥区事業への参加 博多どんたく東区演舞台(運営委員会、演舞台に参加) ⑦筑紫少女苑 成人式に参列 ⑧校区団体の組織づくり 区協議会委員(校区代表)27名 | B | 東) 企画振興課 |
| 博多区男女共同参画代表者会活動支援 | 地域における男女共同参画意識の浸透を図るとともに、女性リーダーの育成と活躍を支援し、男女が共に支えあい、安心して暮らせる社会を目指す。 | (具体的施策 5再掲) ①役員会及び定例会(4回) 各事業の協議及び報告と校区活動の情報交換等 ②男女共同参画講演会(参加者63名) テーマ:男女共同参画社会をめざして 講 師:寺坂カタエ氏 対 象:校区男女共同参画委員, 自治協議会長, 公民館長・主事, まち館館長 ③日本女性会議への参加(参加者数5名) 分科会・全体会へ参加 ④内閣府男女共同参画フォーラムin福岡市への参加 (各校区複数名) ⑤博多区男女共同参画代表者会と自治協との 意見交換会 「第2ブロック」(参加者41名) 「第5ブロック」(参加者48名) ⑥視察研修(参加者数:37名) 福岡県男女共同参画表彰受賞者講演 視察先:田川郡川崎町 講 師:ラピュタファーム代表 杉本利雄氏 ⑦各校区の情報共有 各校区の広報紙を一つにまとめて綴り, 各校区にて保有する。 ⑧区事業への参加協力 博多区市民どんたく隊へ参加(9名) | B | 博) 地域振興課 |

| 1 事業名 | 2 業績目標 | 3 事業実績及び予算額 | 4 評価 | 5 事業実施担当課 |
|------------------------------|--|--|----------|--|
| <p>中央区男女共同参画連絡会及び校区活動の支援</p> | <p>校区が主体的に活動するため、情報交換や交流の場を支援していく。</p> <p>校区状況に即した支援を行うため校区状況の把握に努めるとともに、世情にあった情報発信を行っていく。</p> | <p>(具体的施策 5再掲) 校区主体で男女共同参画を推進していくため、平成22年度に中央区男女共同参画校区団体代表者を設立。校区男女共同参画推進協議会等相互の交流及び情報交換を行っている。(平成24年度より中央区男女共同参画連絡会へ名称変更)</p> <p>①男女共同参画連絡会 ・定例会(月1回程度)での情報交換 ・定例会での校区活動報告 ・区からの情報提供</p> <p>②研修・会議への派遣及び報告 NWEC研修(女性関連施設・地方公共団体・団体リーダーのための男女共同参画推進研修)及び日本女性会議へ区男女共同連絡会委員を派遣し(計3人)、連絡会で報告を行った。</p> <p>③中央区男女共同参画委員研修の共催 中央区男女共同参画連絡会主催の研修会を共催としてサポート(講師:安部事業推進課長 / 参加者:80名)</p> <p>④区事業に参加 博多どんたく港まつりパレード</p> | <p>B</p> | <p>中) 企画振興課</p> <p>※25年度は、地域振興・支援課</p> |
| <p>南区男女共同参画連絡会活動支援</p> | <p>男女共同参画の視点を持った地域リーダーの育成。</p> <p>校区男女共同参画推進活動の充実。</p> <p>校区男女共同参画推進団体間の情報交換の支援。</p> | <p>(具体的施策 5再掲) 校区主体で男女共同参画を推進していくため、平成20年度に南区男女共同参画連絡会を設立。平成25年度は全体会や学習会、ブロック会にて情報交換、グループワークなどを実施した。区は連絡会の事務局として支援を行うとともに、校区リーダー育成講座等の区主催事業を実施した。</p> <p>1. 南区男女共同参画連絡会の活動支援</p> <p>①全体会 年2回開催(6月、3月) 連絡会の活動内容や方向性について、各校区の意見を集約</p> <p>②学習会 年3回実施(7月、9月、1月) 男女共同参画についての講演会を実施 校区が抱える問題や、お互いの考え方などについてグループワークを実施 校区活性化、取り組み方等についても意見を交換</p> <p>③ブロック会 4ブロック 各2回開催 ブロック毎に、より細やかな情報・意見を共有</p> <p>④役員会 年6回開催</p> <p>2. 区主催事業</p> <p>①校区リーダー育成講座 2回【参加者数:43名】 地域で、男女共同参画の視点を持ったうえで指導的立場につける人物が増えることを目的として実施</p> <p>②南区男女共同参画セミナー【参加者数:94名】 校区男女協及び自治協、校区住民等を対象に開催</p> <p>1)男女共同参画啓発ビデオ上映 「女性の人権シリーズ 夫の虐待を許さない！ —夫婦のモラル・ハラスメント— 家庭に潜む、女性への人権侵害を許さない」</p> <p>2)講演 「男と女のいい関係～DVってなあに？～」 講師:原 健一氏(佐賀県DV総合対策センター所長)</p> <p>③南区男女共同参画事業・活動報告書の作成 (発行は26年度)【部数:1,350部】 区主催事業や連絡会及び各校区男女協の活動実績を共有するために作成</p> | <p>B</p> | <p>南) 企画振興課</p> |

| 1 事業名称 | 2 業績目標 | 3 事業実績及び予算額 | 4 評価 | 5 事業実施担当課 |
|-------------------------|---|---|----------|-----------------|
| <p>城南区男女共同参画連絡会活動支援</p> | <p>各校区の自治協議会において、男女共同参画を推進する活動が実施されている。</p> <p>地域活動において、男女が共に、指導的立場に立って幅広く活躍している。</p> | <p>(具体的施策 5再掲)</p> <p>1 城南区男女共同参画連絡会の活動支援</p> <p>①定例会(10回) 校区活動報告,情報交換,行政からの情報提供。</p> <p>②広報紙づくり勉強会(全2回) 地域住民に男女共同参画に対して関心をもってもらうため、読んでもらえる広報紙作りの知識を習得し、校区の広報紙作成につなげた。 ・対象:各校区男女協委員</p> <p>③啓発 広く男女共同参画への意識啓発を図るために、研修の場や公共の展示スペースを利用して、11校区の活動パネルの展示や啓発物の配布を行った。(全3回) ・まちかど文化ひろば(区役所1階ロビー) ・委員研修開催時(市民センター2階ロビー) ・男女共同参画講演会開催時(区役所3階フロア)</p> <p>④その他 ・「日本女性会議2013あなん」への参加 ・「男女共同参画フォーラム」「アミカス記念祭」「あすばるフォーラム」への参加 ・各校区での広報紙の発行</p> <p>2 区主催事業</p> <p>①委員研修 「男女共同参画を地域ですすめるには!？」 男女共同参画を推進する団体の組織運営上の課題、活動上の課題、そして課題解決に向けてどう取り組むべきかを学んだ。 ・対象:各校区男女協委員 【参加人数:79名】 ・講師:西山 恵美子氏 (国立女性教育会館 客員研究員)</p> <p>②男女共同参画講演会及び日本女性会議報告会 東日本大震災を今一度、女性の視点で捉え、この福岡で暮らす私たちが今後その教訓をどう生かしていくか学んだ。 ・対象:各校区男女協委員,自治協関係者,公民館職員等 【参加人数:137名】 I部 「日本女性会議2013あなん」参加報告 II部 講演「震災後の女性と子どもたち - 避難所生活・DV・そして今 -」 ・講師:八幡 悦子氏(NPO法人 ハーティ仙台・助産師)</p> <p>③「日本女性会議2013あなん」への派遣 3名</p> | <p>B</p> | <p>城) 地域支援課</p> |

| 1 事業名称 | 2 業績目標 | 3 事業実績及び予算額 | 4 評価 | 5 事業実施担当課 |
|-------------------------|--|--|----------|-----------------|
| <p>早良区男女共同参画協議会活動支援</p> | <p>校区活動の活性化へつなげる活動の支援。 男女共同参画の視点を持った地域リーダーの育成。</p> | <p>(具体的施策 5再掲) 1. ブロック研修会 区内4ブロックにて委員研修会を実施 委員が研修会の企画から運営までを一貫して担当 ①早良公民館 91名(68名) 「一人ひとりがいきいきと輝く地域社会に」 福永 宅司氏(子どもの学び館代表取締役) ②田隈公民館 62名(55名) 「輝き続けて90年 寺坂カタエの一代記」 寺坂 カタエ氏 ③原西公民館 65名(66名) 「独身男性育児情報誌編集長からパパになって～社長としてパパとして思うこと」 森 光太郎氏(リトル・ママ代表取締役社長) ④室見公民館 71名(76名) 「婚学」で男女共同参画社会を作る 佐藤 剛史氏(九州大学大学院農学研究院助教) 2. 日本女性会議2013あなんへの参加(委員5名参加) 3. 広報誌「かたらい」発行 早良区内公民館、行政施設などに設置 4. 委員研修会 委員が研修会の企画から運営までを一貫して担当 ①アミカス記念祭2013参加 4名(2名) 講演会「型にはまらない生き方」講師 養老 孟司氏 ②あすばる男女共同参画フォーラム2013 1名(7名) 基調講演「誰もが輝く社会へ～女性活躍に向けた課題と期待」等 ③研修会「男女共同参画ってなあに？」54名 安部 修氏(アミカス副館長) 5. 地域リーダー育成研修会「早良区男女共同参画フォーラム」 第1部:基調講演「男女共同参画5W1H」 講師 中嶋 玲子氏(前あすばる館長) 第2部:パネルディスカッション「地域でやってみようよ! 共同参画」 6. 「早良区のつどい」開催 368名 第1部:早良区男女共同参画協議会事業報告 協議会委員による人権劇「今やらなきゃ!!!」 第2部:講演会「自分を生きるということ」 講師 吉永 みち子氏(ノンフィクション作家)</p> | <p>B</p> | <p>早) 地域支援課</p> |
| <p>西区男女共同参画連絡会活動支援</p> | <p>自治協議会会長、各種団体の校区代表及び会長並びに公民館長等のいわゆる地域リーダーへ就任出来る女性を育成する。数値目標:平成27年度までに25%とする。</p> | <p>(具体的施策 5再掲) 校区主体で男女共同参画を推進していくため、平成25年度連絡会へ移行。会議やフェスティバルの開催、広報紙発行を実施した。区は連絡会事務局として支援を行うとともに、地域リーダー育成研修会や男女共同参画表彰等を実施した。 1. 西区男女共同参画フェスティバル 西区男女共同参画フェスティバル2013 「ともにつくりよう いきいきとしたまち」 230名(300名) 2. 日本女性会議 日本女性会議2013あなん参加 1名(4名) 3. 委員交流・意見交換会 ①6月委員交流会・意見交換会 40名(41名) 実行委員・年間テーマ決定 ②9月委員交流会・意見交換会 31名(32名) 「地域課題の解決に向けた実践」 石田 喜久美 委員(壱岐校区) ③1月委員交流会・意見交換会 26名(33名) 「地域の男女共同参画意識を高めるためには」 岩永 真一 氏(福岡テンジン大学学長) ※地域リーダー育成研修会として開催 ④3月委員交流会・意見交換会 29名(30名) 「私たち今“いきいき”してますか」 4. 全体会 ①40名(6月委員交流会終了後、同日開催) ②29名(3月委員交流会終了後、同日開催) 5. 広報紙「なぎさ」 45号・46号(各号6500部)発行 <43・44号は6400部ずつ発行> 年2回、9月・3月に発行している。 6. 男女共同参画表彰 受賞者:1団体 <受賞者:5名, 3団体></p> | <p>B</p> | <p>西) 振興課</p> |

| 1 事業名 | 2 業績目標 | 3 事業実績及び予算額 | 4 評価 | 5 事業実施担当課 |
|--|--|--|------|-----------|
| 具体的施策 34 生活的自立のための学習機会の提供 | | | | |
| 男女の自立や男女共同参画を促進するための講座等 ☆アミカス講座 | | (具体的施策 30再掲) ○男性向けセミナー 男性と若年層を対象とした多様なテーマの講座及び父と子を対象とした料理教室等を実施。 ◆パパと子どものクッキング 全2回(全2回) 講師:横尾妙子(管理栄養士) 参加者数:延べ48人【男:34人,女14人】 〈延べ50人【男:35人,女15人】〉 ◆男性カレッジ 全4回(全4回) 講師:天野周一(全国亭主関白協会会長)ほか 参加者数:延べ247人〈延べ81人〉 | A | 市) 事業推進課 |
| 公民館における男女共同参画学習講座のうち主に男性を対象とするもの | 公民館主催事業(男女共同参画学習講座のうち主に男性を対象とするもの)実施館数の増加 18館 | (具体的施策 32再掲) 公民館主催事業のうち男女共同参画学習講座を重点事業として実施。そのうち主に男性を対象としたもの。 公民館数 11館〈12館〉 回数 30回〈42回〉 参加人数 663人〈831人〉 | C | 市) 公民館調整課 |

施策の方向 3 子育て・介護支援の充実

| 1 事業名 | 2 業績目標 | 3 事業実績及び予算額 | 4 評価 | 5 事業実施担当課 | | | | |
|------------------------------|-------------|---|---------|-----------|-----------|-------------|---|-------------|
| 具体的施策 35 多様なニーズに対応した子育て支援の充実 | | | | | | | | |
| こどもショートステイ | | 保護者が病気などで家庭での養育が一時的に困難な子どもを、児童養護施設や乳児院で短期間預かるもの。 実施か所数 児童養護施設3, 乳児院2 実績 248人, 1,383日(229人, 1,265日) 予算額 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>4,788千円</td> <td>〈3,651千円〉</td> </tr> </table> | 25年度予算額 | 24年度予算額 | 4,788千円 | 〈3,651千円〉 | A | こ) こども家庭課 |
| 25年度予算額 | 24年度予算額 | | | | | | | |
| 4,788千円 | 〈3,651千円〉 | | | | | | | |
| 病児・病後児デイケア事業 | | 保育園等へ通っている子どもが病気のと看で、保護者が仕事の都合などで看病できない場合に、病児デイケアルームで一時預かりを行うもの。 実施か所数 乳児院 1, 小児科医院15,合計16か所 延利用数 22,789人(19,789人) 予算額 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>25年度予算額</td> <td>24年度予算額</td> </tr> <tr> <td>235,501千円</td> <td>〈233,671千円〉</td> </tr> </table> | 25年度予算額 | 24年度予算額 | 235,501千円 | 〈233,671千円〉 | A | こ) こども発達支援課 |
| 25年度予算額 | 24年度予算額 | | | | | | | |
| 235,501千円 | 〈233,671千円〉 | | | | | | | |

| 1 事業名 | 2 業績目標 | 3 事業実績及び予算額 | 4 評価 | 5 事業実施担当課 |
|--------------------|------------------------|--|------|-----------|
| 特別保育事業 (延長保育) | 延長保育172か所 【平成26年度末】 | 保護者の就労形態の多様化や通勤時間の増加等によって、通常の午後6時までの開所時間を超過して保育を必要とする場合に、保育時間を延長するもの。 延長保育187か所(1～4時間)〈181か所〉 | B | こ) 保育課 |
| | | 予 算 額 (※予算額は全体予算) 25年度予算額 837,742千円 24年度予算額 〈864,089千円〉 | | |
| 特別保育事業 (一時保育) | 一時保育 継続実施 | 保護者の急病や仕事、リフレッシュなど、保育所に入所していない子どもについて一時的に保育が必要となる場合に、保育所で預かるもの。 一時保育28か所〈26か所〉 | C | こ) 保育課 |
| | | 予 算 額 (※予算額は全体予算) 25年度予算額 837,742千円 24年度予算額 〈864,089千円〉 | | |
| 特別保育事業 (休日保育) | 休日保育7か所 【平成26年度末】 | 保護者が日曜・休日に就労している場合に、市内の保育所に入所している子どもを、実施保育所で預かるもの。 休日保育4か所〈4か所〉 | C | こ) 保育課 |
| | | 予 算 額 (※予算額は全体予算) 25年度予算額 837,742千円 24年度予算額 〈864,089千円〉 | | |
| 特別保育事業 (夜間保育) | 夜間保育2か所 【平成26年度末】 | 保護者が夜間に就労している場合等に対応するため、保育所の開所時間を午後10時までとし、さらに深夜2時までの延長保育を行うもの。 夜間保育2か所〈2か所〉 | A | こ) 保育課 |
| | | 予 算 額 (※予算額は全体予算) 25年度予算額 837,742千円 24年度予算額 〈864,089千円〉 | | |
| 特別保育事業 (特定保育) | 特定保育7か所 【平成26年度末】 | 短時間勤務や隔日の勤務などで、週2、3回程度または午前か午後のみなどの保育を必要とする場合に、必要な日時について保育する。 特定保育5か所〈4か所〉 | C | こ) 保育課 |
| | | 予 算 額 (※予算額は全体予算) 25年度予算額 837,742千円 24年度予算額 〈864,089千円〉 | | |
| 特別保育事業 (障がい児保育) | 全保育所で受入 【平成26年度末】 | 全保育所で受入可 | A | こ) 保育課 |
| | | 予 算 額 (※予算額は全体予算) 25年度予算額 837,742千円 24年度予算額 〈864,089千円〉 | | |

| 1 事業名 | 2 業績目標 | 3 事業実績及び予算額 | 4 評価 | 5 事業実施担当課 |
|-----------------|--|--|------|---------------------|
| 一時預かり事業 | 実施施設数8か所 (新・福岡市子ども総合計画, 平成26年度末計画目標) | 保護者等が冠婚葬祭や通院, リフレッシュ等のために必要なときに, その養育する児童を一時的に預かることで, 乳幼児の保護者の子育てに関する不安感・負担感を軽減し, 虐待防止と児童の健全育成を図る。 実施施設数 4か所(3か所) 予 算 額 25年度予算額 10,527千円 24年度予算額 <7,796千円> | A | こ) 子育て支援課 |
| ファミリーサポートセンター事業 | 会員数7,200人 (新・福岡市子ども総合計画, 平成26年度末計画目標) | 「子育てを応援して欲しい人」と「子育てを応援したい人」が地域の中で育児の相互援助活動を行う。 ・保育所・幼稚園・学童保育の迎え及び帰宅後の預かり ・保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助 ・子どもの習い事等の場合の援助 など ・会員登録数 依頼会員(子育てを応援して欲しい人) 5,644人 <4,886人> 提供会員(子育てを応援したい人) 885人 <862人> 両方会員(子育てを応援して欲しいし, 応援もしたい人) 881人 <878人> 合 計 7,410人 <6,626人> ・活動状況 17,457回<18,143回> 予 算 額 25年度予算額 23,766千円 24年度予算額 <24,372千円> | A | こ) 子育て支援課 |
| 保育所の整備 | 保育所入所定員の増加 | 様々な手法を用いて集中的な保育所整備を行ってきた結果, 平成26年度当初の待機児童解消を達成した。今後も, 増加する保育需要に対応するため, 様々な手法を用いて, 保育所整備を実施する。 平成23年度: 1,160人分の定員増(家庭的保育事業80人分含む) (平成24年4月1日保育所入所定員 26,264人) 平成24年度: 1,400人分の定員増(家庭的保育事業40人分含む) (平成25年4月1日保育所入所定員 27,664人) 平成25年度: 2,354人分の定員増(家庭的保育事業55人分, 小規模保育事業246人分, 幼稚園の預かり保育事業233人分含む) 予 算 額 25年度予算額 4,819,004千円 24年度予算額 <2,088,137千円> ※予算額の備考 平成25年度12月補正, 2月補正後の予算額 | A | こ) 保育課 こ) 子育て支援課 |
| 留守家庭子ども会事業 | 小学校内に設置した「留守家庭子ども会」等において, 学年拡大に係る対象校・学年を順次拡大し, 平成27年度当初までに, 全施設での全学年受入を実施する。 | 放課後帰宅しても保護者が労働等で不在である家庭の児童を対象に「留守家庭子ども会」を設置し, 児童の健全育成と子育て支援を行う。 設置校区 140か所(138校区)<141か所(138校区)> 平成20年9月から午後7時までの開設時間の延長を実施。 平成21年7月から4年生の長期休業中のみの受入れを実施。 平成22年4月から67校区において4年生の通年受入れを実施。 平成23年4月から24校区において4年生の通年受入れを実施。 また, 22年度に4年生を受け入れた67校で5年生の通年受入を開始。 平成24年4月から24校区において4年生の通年受け入れを実施。また, 23年度に4年生を受け入れた24校で5年生の通年受入を開始, 5年生を受け入れた67校で全学年の通年受入を開始。 平成25年4月から4年生の通年受入を全校で実施。また, 24年度に4年生を受け入れた24校で5年生の通年受入を開始, 5年生を受け入れた67校で6年生の通年受入を開始。 | A | こ) 放課後こども育成課 |
| | | 予 算 額 25年度予算額 2,856,578千円 24年度予算額 <2,931,296千円> | | |